

【令和7年度 予算要求の方針】

北九州市議会は、地方自治制度における二代表制の一翼を担っており、独立・対等の立場で、議案等の審議により本市の意思決定を行い、執行機関を適切に監視し、市政の課題に対する政策提言を行う等の役割を有している。

また、近年では、社会経済情勢の変化を踏まえ、市議会の透明性の確保や効率的な議会運営、議員のなり手不足といった社会課題への対応も求められている。

市議会の活動は、市民の福祉の増進及び市勢の発展に寄与することを目的としており、これらの議会活動を補佐し、効果的かつ円滑な議会運営の確保に努める。

【令和7年度 予算要求の基本的な考え方】

○：新規事業、○：拡充事業

要求額 402 百万円 (対前年度 +2.2%)

●議会の機能強化

人口減少や急速に進む少子・高齢化、デジタル社会への対応など、社会経済情勢の変化を踏まえ、市政の課題について調査・研究し、政策立案及び政策提言を行うための環境整備など、議会の機能強化を図る。

- ・ 常任委員会活動の充実強化
- ・ 市議会政策立案の支援
- ・ 議会棟委員会室オンライン会議システム運用
- ・ 市議会タブレット端末の運用

●市民に開かれた議会の実現

市民が市政に関心を深めることができるように、本会議や委員会のインターネット配信など、議会広報を充実・強化するとともに、市民の意見を代表する市議会への関心を高めるため、主権者教育を推進する。

- ・ 市議会中継システム更新事業
- ・ 委員会中継インターネット配信事業
- ・ 市議会広報
- 主権者教育推進事業



※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和7年度に実施することが確定しているものではありません。

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

No	新規 拡充	事業名	事業費	一般財源	事業概要及び模様替えの考え方
「稼げるまち」の実現					
該当なし					
「彩りあるまち」の実現					
該当なし					
「安らぐまち」の実現					
該当なし					
その他の取り組み					
1	新	主権者教育推進 事業	1,007	1,007	市議会の仕組み等を分かりやすく解説した動画の制作等を行い、議場見学者や市内の小中学校等に広く周知することで、主権者教育を推進する。